

事業番号	10 04 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	信州の森林づくりを推進するための事業	部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	
		実施期間	S41 ～	E-mail	shinrin @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・本県の民有林人工林の約8割が50年生を超えており、森林の若返りを図ることが必要。また、近年、各地で土砂災害や流木被害等が頻発している。
- ・このため、計画的な主伐・再造林の推進及び防災・減災のための森林整備等を推進していく必要がある。

2 事業目的

2050ゼロカーボンの実現に向け、森林が持つCO₂吸収能力を十分に発揮できるよう計画的な主伐・再造林や、土砂災害防止などの森林の持つ多面的機能の維持・増進を図るための間伐等の森林整備を推進する。

3 事業目的を達成するための取組

①再造林の加速化

- ・計画的な主伐・再造林を推進するため、再造林とその後の下刈り等に必要な経費を支援
- ・効率的な主伐・再造林を推進するため、架線を活用した取組等に係る経費の一部を支援
- ・効率的な再造林を推進するため、主伐後の林地残材等の木質バイオマス資源として活用する際に係る経費を支援
- ・再造林を推進するため、優良な苗木を生産するとともに苗木の生産基盤整備を支援
- ・花粉発生源となるスギ人工林の減少を図るため、伐採・植替えを促す支援を実施
- ・再造林に必要な苗木の安定供給のため、県内で不足する小花粉スギの苗木やカラマツ種子の移入に係る広域需給調整を実施



主伐後の
再造林地

②防災・減災のための里山整備

- ・土砂災害や流木被害等を防止するための間伐等に必要な経費の一部を支援
- ・近年の大雨等による災害の教訓から、事前防災・減災のため、国土保全上重要な河川流域等における森林整備を実施



防災・減災
のための
里山整備

③県民が広く親しめる里山づくり

- ・広く県民が親しめる里山とするため、森林整備等に必要な経費の一部を支援
- ・緑化思想の普及啓発のため、森林環境教育を行う県民の森等の管理運営を行う



開かれた
里山整備

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	苗木生産量	万本	150	183	↗	152 (推計値)	↘	217	未達成 令和7年度の造林に必要な苗木の生産量を目標値とする。 (令和8年11月に開催予定の需給調整会議で確定の見込)
②	森林整備面積	ha	5,780	5,645	↘	4,767	↘	9,500	未達成 長野県森林づくり指針の令和7年度の民有林の森林整備面積の目標値とする。
③	森林・林業への理解の役立ち度 (アンケート)	%	97	96	↘	90	↘	90	達成 戸隠森林植物園・森林学習館利用者アンケートを通じ、森林・林業への理解に役立ったと回答した人の割合を目標値とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1①	持続可能な脱炭素社会の創出	☆民有林における造林面積	ha	2023 (R5)	434	2024 (R6)	406	2025 (R7)	538	2027 (R9)	1,000
3-1①	地域の特徴と自然の恵みを生かした快適で魅力ある空間づくりの推進	県民が広く親しめる里山の数(累計)	か所	2023 (R5)	16	2024 (R6)	29	2025 (R7)	38	2027 (R9)	50

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	579,362	3,789,028	771,652	5,140,042	1,501,783	3,894,684	20.3
R6年度	667,936	3,575,634	473,684	4,717,254	1,418,379	4,050,571	20.3
R5年度	1,391,652	3,529,936	△ 68,016	4,853,572	1,511,449	4,112,300	20.3

事業番号	10 04 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	信州の森林づくりを推進するための事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	

7 主な取組実績と成果

①再造林の加速化

- ・「伐って、植えて、育てる」という林業のサイクルを確実に行うため、再造林とその後の下刈り等に必要な経費の支援や、花粉発生源となるスギ人工林の減少を図るための伐採・植替えを促す支援を行い、再造林を538ha実施できた。
- ・効率的な再造林を推進するため、架線等を活用した7件の取組を支援することができ、林地残材等の木質バイオマス資源として活用する際の経費の支援を行い、7,588 tの活用ができた。
- ・再造林を推進するため、苗木の生産基盤整備を行い、優良な苗木152万本を生産することができた。
- ・再造林に必要な苗木の安定供給のため、広域需給調整に係る会議への参加を行った。

②防災・減災のための里山整備

- ・森林づくり県民税を活用し、各地で頻発している土砂災害や流木被害等を防止するための間伐等351haを実施し、健全な森林を維持することができた。

③県民が広く親しめる里山づくり

- ・森林づくり県民税を活用し、開かれた里山内の景観の向上、安全性の確保のため修景林間整備を実施した。
- ・県民と森林のふれあいの場の提供及び森林の多面的機能に対する理解促進のため県内2箇所の「県民の森」の管理運営を実施した。
- ・企業からの寄付金を活用し、戸隠森林植物園内の歩道等の修繕作業を実施した。



修繕された歩道等➤

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	苗木生産量	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
苗木生産量は目標の217万本に対して、実際に植栽が行われたのは152万本（達成率70%）。再造林の省力化・低コスト化の取組の推進により、植栽本数が伸び悩む状況となった。再造林を推進するため、優良な苗木の生産に努めたい。							
指標②	森林整備面積	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
森林整備面積は目標の9,500haに対して、4,767ha（達成率50%）。再造林推進の取組により地拵え・植栽の面積は増加したものの、他の森林整備（衛生伐・除伐等）面積が減少したため、総量として森林整備面積は減少した。計画的な主伐・再造林の推進及び防災・減災のための森林整備の推進に努めたい。							
指標③	森林・林業への理解の役立ち度（アンケート）	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	達成
森林・林業への理解の役立ち度（アンケート）は目標90%に対して、アンケート回答者から森林・林業への理解が深まったと回答を受け、実績は90%（達成率100%）となり、県民が協働して森林を守り育てる意識の醸成に貢献できた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

長野県森林づくり県民税についてのアンケートでは、森林に対する期待として、防災・減災や二酸化炭素吸収能力を最大限発揮させることについての県民意識が高くなっている。

成果指標の達成に向け取組を行っているものの、苗木生産量においては再造林の省力化・低コスト化の取組の推進による単位面積当たりの植栽本数の減少、森林整備面積においては衛生伐・除伐等に係る面積の減少により、主伐・再造林や森林整備の推進という事業目的に対して十分な成果水準に達していない状況である。

こうした中で、主伐・再造林及び防災・減災のための森林整備を着実に進めていくことが課題である。

(2) 事業改善の方策

事業要望に応えつつ、必要な森林整備を着実に実施するため、事業説明会の実施等により事業主体とのコミュニケーションをこれまで以上に取ることや、施策の趣旨説明を丁寧に行い、理解を得ることで、再造林や間伐等の森林整備に計画的に取り組む。

事業番号	10 04 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	信州の森林づくりを推進するための事業		部局	林務部	課・室	森林づくり推進課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	森林整備関係事業費		2,786,931 千円	2,702,799 千円	2,586,915 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州の森林づくり事業	補助金	・森林の有する県土の保全、水源のかん養等の多面的機能の維持・増進を図るため、計画的に実施する森林整備（間伐や樹種転換等）を支援する。 ・防災・減災や野生鳥獣被害対策のための森林整備及び木材製品の競争力強化を図る間伐材の生産・利用を推進する。 ・花粉発生源となるスギ人工林を減少させるための伐採・植替えを森林所有者に促す支援を実施する。		
			森林整備面積 4,136ha		
2	人工造林・初期保育の嵩上げ （信州の森林づくり事業のうち）	補助金	2050ゼロカーボンの実現及び持続可能な林業に向け、長野県主伐再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等を支援する。		
			再造林面積 358ha		
3	みんなで支える里山整備事業	補助金	多くの県民等が広く利用できる里山を県内各地域に整備するとともに、防災・減災のために必要な整備を支援する。		
			里山整備箇所 11箇所、防災・減災のための森林整備面積 351ha		
4	グレースの森創生事業	補助金	寄付金を活用して、山仕事に意欲のあるI・Uターン者等の多様な担い手の参加のもとで「記念林」となる森林整備を行う。		
			森林整備件数 0件		
5	林地残材等有効活用支援事業	補助金	・効率的な再造林を推進するため、主伐後の林地残材の搬出を支援する。 ・林地残材の活用に向けた技術支援・研修会を実施する。		
			林地残材の活用量 7,588 t		
6	再造林省力化モデル推進事業	補助金	効率的な再造林を推進するため、資材運搬の架線や自走式刈払い機等の導入を支援する。		
			再造林面積 358ha		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	緑化推進事業費		956 千円	1,004 千円	4,140 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	森林災害予防普及啓発事業	直接	森林火災の予防や森林保険加入促進のため、普及啓発物品の作成・配布及び林業業界誌に広告を掲載するなど広報活動を行う。		
			広報回数 1回、のぼり旗や懸垂幕の配布による啓発		
2	SDGs森林の再生発信事業	直接 負担金	・長野県が行うSDGsの取組の普及啓発 ・森林再生に係るモデル事業を実施する者への負担金		
			国内外へ長野県のSDGsの取組をPR、ABMORIパッケージモデルの実施1件		
3	緑化推進事業費	直接 負担金	県内で行われる植樹活動に対する支援及び公益財団法人日本さくらの会の賛助会員会費を負担		
			開催地区数 4箇所（実施市町村：小諸市、木祖村、安曇野市、野沢温泉村）		
4	地球温暖化防止吸収源対策推進事業	直接	民間企業等が「森林（もり）の里親促進事業」に基づき間伐等を実施した森林のCO2吸収量を県が評価・認証する。		
			森林CO2吸収評価認証量 3,375t-CO2／年		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	県有施設管理関係事業費		11,358 千円	12,144 千円	13,530 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県民の森管理事業	直接	県民と森林のふれあいの場の提供及び森林の多面的機能に対する理解促進のため、県内2箇所の「県民の森」を管理運営 歩道刈払い1,700m、森林内巡視90人日		
2	戸隠森林植物園・森林学習館管理事業	直接 委託	森林レクリエーションや自然探索の場としての戸隠森林植物園・森林学習館の管理を行う。 木橋改修工事1式、公衆トイレの改修1基、パンフレット3,000部、案内図（英語版）100部		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	林業公社事業費		1,299,323 千円	1,319,123 千円	1,266,010 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	林業公社貸付金	貸付金	「経営改革プラン」に基づく経営計画促進のため、分収林事業の見直しを進め、必要な経費の一部の貸付を実施 林業公社が管理している森林の面積17,559ha		
2	森林整備合理化計画推進事業	補助金	「経営改革プラン」に基づく経営計画促進のため、公社が借り受ける有利子資金に対して国の規定に基づき、一定の利子助成を実施 林業公社が管理している森林の面積17,559ha		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	林業用優良苗木生産指導事業費		13,732 千円	15,501 千円	24,089 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	優良苗木の安定供給促進事業	直接 委託 補助金	・林業用優良苗木の安定生産・供給のため、優良な種子を確保するとともに苗木の生産基盤整備を支援 ・新規苗木生産者等育成のための講習会の開催 ・種子生産量増加のための県管理採種園の整備推進 ・松くい虫抵抗性アカマツの種子生産に向けた県管理採取園の整備推進 ・種子と苗木の広域需給調整に係る会議及び調査の実施 ・整備箇所数 8箇所 ・広域需給調整に係る会議4件に出席		